

## 平成25年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校第6学年 理科 出題のねらい等

No.1

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象についての 関心・意欲・態度	科学的な 思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての 知識・理解	知識	活用
①	1	(1)	ア	生命・地球	6年	B(1)ア 人の体のつくりと働き	人の吐いた息には、二酸化炭素の割合が多いことを活用して調べることができること。			○			○
②			イ	生命・地球	6年	B(1)ア 人の体のつくりと働き	呼吸では、酸素を使い二酸化炭素を出していることを理解していること。				○		○
③		(2)		生命・地球	6年	B(3)ア 生物と環境	天候の条件を考慮した上で結果を推論することができること。		○				○
④				生命・地球	6年	B(3)ア 生物と環境	天候の条件を考慮した上で結果を推論することができること。		○				○
⑤		(3)		生命・地球	6年	B(3)ア 生物と環境	空気を通しての動物と植物の関係を図示できること。			○		○	
⑥	2	(1)		生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の位置や形と太陽の位置を調べ、その過程を記録できること。			○			○
⑦		(2)	ア	生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の形から太陽の位置を予想し、表現できること。		○				○
⑧			イ	生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月と太陽、地球をモデルに見立てて調べることができること。			○			○
⑨			ウ	生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の見え方とモデル実験を比較しながら、月の形を考え、表現できること。		○			○	
⑩				生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の見え方とモデル実験を比較しながら、月の形を考え、表現できること。		○			○	
⑪			エ	生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の見え方のモデル実験から月の形の変化を理解していること。				○	○	
⑫		(3)		生命・地球	6年	B(5)ア 月と太陽	月の形の変化を太陽との位置関係から考え、説明できること。		○				○
⑬		(4)		生命・地球	6年	B(5)ア、イ 月と太陽	月や地球などの天体に関して学んだことを生かしてより興味をもとうとしていること。	○					○
⑭	3	(1)		物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	物によってとける量に違いがあるかを予想し、それに合うグラフを指摘できること。		○				○
⑮		(2)	ア	物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	メスシリンダーの名前を理解していること。				○	○	
⑯			イ	物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	メスシリンダーの目盛りを正しく読むことができること。			○		○	
⑰			ウ	物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	溶け方の違いを調べるために、その他の条件を同じにして調べることができること。			○		○	
⑱		(3)		物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	物の溶け方の規則性を調べ、その結果を定量的に記録できること。			○		○	
⑲		(4)		物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	物によって溶ける量に違いがあることを実験結果から考察し、表現できること。		○				○
⑳		(5)		物質・エネルギー	5年	A(1)イ 物の溶け方	水の温度を下げると、食塩は取り出せないがミョウバンは取り出せることを理解していること。				○	○	

平成25年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校第6学年 理科 出題のねらい等

No.2

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象についての 関心・意欲・態度	科学的な 思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての 知識・理解	知識	活用
㉑	4	(1)	ア	物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	燃焼について、長く燃え続けるための条件を選ぶことができること。		○			○	
㉒			イ	物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	燃焼について、実験結果から燃えた後の空気と新しい空気の間係を考へ、表現できること。		○				○
㉓			ウ	物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	物が燃えるときの酸素と二酸化炭素の割合の変化を予想し、結果を指摘すること。		○				○
㉔		(2)	ア	物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	物が燃えるときの酸素と二酸化炭素の関係を理解していること。				○	○	
㉕			イ	物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	物が燃えた後の酸素と二酸化炭素の割合をモデル図に表すこと。			○		○	
㉖		(3)		物質・エネルギー	6年	A(1)ア 燃焼の仕組み	身の回りの道具で物が燃える時の性質が使われているものを挙げ、物の燃焼の仕組みを利用し、身の回りの現象を見直そうとしていること。	○					○

※ 網掛けの問題は、平成24年度調査において課題がみられた内容の改善状況を見る問題として出題しています。